

酷暑環境でも空調服の効果UP!高性能保冷剤・ベスト発売!!



NSP通信
第19号
2016.6月
株式会社 エヌ・エスピー
http://www.kkns.jp
バックナンバーはホームページからダウンロードできます

◆もっと涼しくならないか? そんな声から生まれた商品です。

「空調服がもっと涼しくならないか? 今の職場環境では空調服だけでは物足りない」という過酷な場所で仕事をされている方の切実な要望を聞くことがあります。

◆保冷剤には違いがあるの? 「保冷剤」といっても千差万別。容量の大きいもの、小さいもの、保冷するべき温度帯、持続時間などが各々違うことを皆さんご存知でしょうか? 例えば、アイスクリームを保冷するには-18℃程度、飲料水を冷やすには5℃程度冷やせば十分です。-18℃の保冷剤は一気に冷やす事が出来るものの、エネルギーが沢山必要になる為、持続時間は短くなります。

そんなお客様の声に応えるため、開発された「高性能保冷剤(Nクールパック)」と「Nクールベスト」をご紹介します。

体を冷やすためには-18℃が必要でしょうか? 答えはノーです。体を必要以上に冷やすと、低温やけどや体調不良を招く恐れが高くなります。

◆NSPの保冷剤 「Nクールパック」は? 製品開発でもっとも主眼を置いたのは、効果が長時間持続すること、保冷剤が体に直接触れても快適な温度帯を維持できるか? という点です。

色々な試験を行った結果、次のような3つの特徴を持つことが出来ました。



Nクールパック

- ① 低すぎない温度設定。(保冷剤の設定温度は-2℃)
- ② 長時間効果。(40℃の環境でも4時間以上効果が持続)
- ③ シルバーのクッションフィルム

◆「Nクールベスト」 Nクールパックを4個装着する事が出来るメッシュ製ベストです。立ったり屈んだりする現場で密着度が落ちないよう、肩にはゴムを、脇には伸縮性のマジックテープを採用しました。この機能により、快適に作業が出来ます。

◆展示会に出展しました。 2016年5月26日から29日までの間、東京ビックサイトにおいて、「夏の暑さ対策展」が開催されました。5月にも関わらず、暑い日の続く展示会でした。

◆期間中の来場者数 4日間の来場者数は29,557名の来場がありました。(来場者数は夏の暑さ対策展を含む7展示会の合計数となります) ◆当社のブースでは・・・ 展示会では恒例となっている「NSPオリジナル空調服」に加えて今年度から発売開始した「フルハーネス用空調服」、「綿100%空調服」、「空調ヘルメット」を展示しました。今年から発売開始した「フルハーネス用空調服」について興味を示して頂けるお客様を多く感じました。高所作業をされる方にとって



血流が多い両脇の近くと背中に保冷剤を配置し、保冷効果を高めるようにしました。



にぎわっている様子

◆開催中、こんなイベントも・・・ 展示会の最中にまぐろの解体ショーがありました。立派なマグロを解体していき、その場でまぐろの井を販売していました。まぐろの井が1200円、中トロ井が2000円と魅力的なお値段でしたが仕事中であり、出展社という立場から断念しました。非常に残念でした・・・



まぐろの井に並ぶ人々

◆以降の展示会予定 7月20日から22日までの間、東京ビックサイトにおいて、「猛暑対策展」があります。出展社も多く、認知度も高い展示会です。是非NSPブースにお立ち寄りください。お待ちしております。

「アイ・コンストラクション」とマシンガイダンス

《アイ・コンストラクション》

国土交通省は、これまでに3Dのマシンコントロールなどを使った情報化施工や、構造物の3次元モデルを使って設計・施工を行うCIM、ドローン(無人機)やロボットを使った構造物の点検・補修など、様々なICT(情報通信技術)関連の設計・施工・維持管理技術の導入や開発を進めてきました。



測量用ドローン

これらの技術を統合し導入することで、「技能労働者一人当たりの生産性について、将来的に5割向上させることを目的」として推進するのがこの「アイ・コンストラクション」になります。

土木・建設業の技能労働者一人当たりの生産性について見てみると、トンネル工事などは「シールド工法」などの開発により、20年間で10倍近くに向上しています。

ところが、土工やコンクリート工の一人当たりの生産性は、20年前とほぼ同じ

結果となっており早急な改善が求められています。

また、技能労働者の高齢化も進み、若年層の就業者数が減少することで、この業界は深刻な人手不足に陥っていることから、当社としては、この状況を改善するためのツールとして、「2D方式のマシンガイダンス」に取り組みことになりました。



パワーディガーライト

この2D方式のマシンガイダンスは、油圧シヨベルに取り付けた角度センサーで勾配と高さをガイドしてくれる、油圧シヨベル用のナビみたいなもので、操作は簡単。難解な現場の3Dデータは不要です。基礎業者さん向けのミニ油圧シヨベル用も準備していますので、一度試してみたいかがでしょうか!?



《36パネル施工事例》

富山営業所から、36パネルとクイックサポートの長尺タイプを使用した現場の記事が届きましたのでご紹介致します。

石川県宮竹用水土地改良区発注の「宮竹用水第二発電所導水管路工事」にて、当社の36パネルと長尺サポートを使用して頂きました。

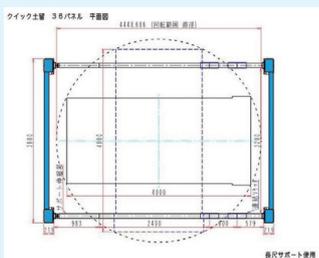
この現場は、口径φ2000長さ4mのFRPM管を敷設して行く工事で、管1本の重量は約1.5tあります。施工延長は約2kmで平均の掘削深は4mでした。



発電導水路にしようするFRPM管φ2000

埋設する管の口径がφ2000と大口径だったことから、開口高を広くする必要がある、また、サポートをスイングさせて施工する事が困難でしたので、お客様から良い方法はないかとご相談がありました。そこで、

図①のように1スパンを開削幅5mと広く設定し、管を吊り降ろすためのピットにしました。そして、開削幅と同じ向きに管を吊り降り、着底寸前で、管を90度回転させる方法をご提案させて頂き採用して頂きました。



図①



今後当社の機材で施工出来るいろいろな方法をご提案して行けたらと思います。

富山営業所 高井 克也

《編集後記》

この頃巷でよく「AI」という言葉を耳にする様になりました。空気が読めない人の親戚? アメリカの軍隊に居た人の話? 惜しいけど違います。「人口知能」の事だそう。自動でどんな学習を繰り返す鬼の様に賢くなるそうです。囲碁や将棋のプロの人をコテンパンにやっつけたり、人間顔負けの自然な文章を作成したり、どこかのテーマパークのホテルではAIの組み込まれた接客用のロボットがフロント業務をこなしてるとか...

あと何年かしたら、会社でもAIの上司から「喋ってばかりいないで手を動かせ!」とか「せめて給料分位は働け!」とか突っ込まれたりするのでしょうか? でも良く考えたら上司がAIなら部下もAIでも良いわけで、AI付き営業マンとかAI付き事務員とか、う〜ん何か居場所が...心配症のそのあなた、大丈夫ですよ(履いてます)。とある

研究所の試算でも日本で働く人の50%の仕事しか、人間からAIに労働力の入替が進まないそう、人間とAIの共存が進めばこの先の少子高齢化による労働力不足の解消にもつながるとか。

「いやあこの先の日本の未来はバラ色で明るいな」と人には書いておきながら、AIで替わりが効かない仕事って何だろうって、こっさり考えとこうって思う今日この頃です。



業務部 岩崎 直生